ドパミントランスポーターシンチグラフィ検査説明書

【検査当日】

・検査予約時間の **1 時間前までに 1 階「初診受付」** にお越しください。

・初診受付で手続きが済みましたら、2 階「画像診断受付」へご案内します。

・検査開始から終了までおよそ **5 時間**を予定しております。

【検査の目的】

・脳の線条体に集まる性質をもつ放射性医薬品を注射し、それから放出される放射線（γ線）を検出します。
・主にパーキンソン症候群、レビー小体型認知症などの診断を目的に検査を行います。

【検査前に必要な準備】

・**食事や飲み物の制限はありません。**

【検査の流れ】

・金属が影になって写るのを防ぐため、ネックレス等の貴金属類、金具を外して頂くことがあります。
・放射性医薬品を静脈注射して 3～4 時間ほどお薬が取り込まれるまでお待ち頂きます。その間はご自由にお過ごしください
・3～4 時間後に検査装置のベッドに仰向けに寝た状態で、40 分間の撮像をします。

【検査の安全性】

・日常生活における自然放射線による被ばく線量は年間約 2.1mSv（ミリシーベルト）です。
・当センターでの脳血流シンチグラフィ検査 1 回あたりの被ばく線量は 4.4～4.5mSv であり、健康被害の心配はないと考えられる線量です。
・放射性医薬品はごく微量なため、副作用はまれです。
（副作用発生率は 100,000 件あたり 1.2 件）＊出典：核医学 56 巻 1 号(2019 年)

【その他】

・**核医学検査で投与する放射性医薬品は当日以外使用できないため、キャンセルに関して受診日前日（土日祝日を除く）午後 3 時までにおかかりの医療機関へご連絡お願いいたします。**
おかかりの医療機関が休診日の場合は足立医療センター03(3857)0112　核医学検査室（内線 31333）へご連絡お願いいたします。

ご不明な点等ございましたら、おかかりの医療機関までお問い合わせください。

東京女子医科大学附属足立医療センター放射線科
03(3857)0112　核医学検査室（内線 31333）

2023.12 改訂